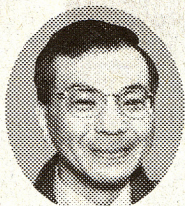


# 文系版「産学連携」

## 和歌カレンダーを製作



産学連携で製作された「和歌のしらべ」



小野助教

大阪教育大(柏原市)と紙製品メーカー「ドゥー」

(東大阪市)が、百人一首や古今集などの和歌を季節ごとに振り分けた日めくり式の卓上カレンダー「和歌のしらべ三六五番」を共同製作した。文系では珍しい産学連携による商品開発で、古典ファンらの注目を集めている。

同大の小野<sup>あつす</sup>靖助教(日本歌謡史)が編者を務め、百人一首の全100首と、古今集や新古今集などの和歌集から選んだ266首の計366首を、はがき

大の紙に1首ずつイラストや意識を添えて掲載。歌集

風に通し番号を打ち、七夕にあたる189番の紙には「天の川 扇の風に 霧晴れて 空澄み渡る 鶺鴒たじろの橋」(拾遺集)を選ぶなど、毎日のように季節感を楽しめる内容になっている。

府内の主要書店などで1個1000円(税込み)で販売を始めたところ、「斬新な商品で面白い」と注文が相次ぎ、他府県からも引き合いが。ドゥー担当者は「古典ブームで増える中高年ファンをつかまえることができたのでは」。小野助教も「研究成果を披露する場が広がった。これを機に文系の産学連携もさらに進めば」と期待する。

問い合わせは、ドゥー企画開発室(06・6747・3871)へ。